Canon キヤノン ITソリューションズ株式会社

ニュースリリース

2009年7月27日
キヤノンITソリューションズ株式会社

画像入力ボード「Matrox Solios eV-CL」販売・サポート開始

キヤノンマーケティングジャパングループのキヤノンITソリューションズ株式会社（本社：東京都港区、代表取締役社長：武井尭）は、取り扱い製品であるMatrox社（本社：カナダ）の画像入力ボード「Matrox Solios eV-CL」について、2009年7月27日より受注を開始します。

「Matrox Solios eV-CL」は、ほとんどの高性能メガピクセルのフレームカメラ及びラインカメラと接続可能です。また、ボード上にベイヤー変換機能 *1（eV-CLB）およびカラースペース変換機能、LUT *2 を搭載しており、ホストCPUに負荷をかけることなく、それらの処理を入力と同時に実行する事が可能です。
「Matrox Solios eV-CL」には、複雑なケーブル配線不要、同時に独立した2Chの最大85MHzのBase規格カメラリンク取込が可能な「Matrox Solios eV-CLB」と、最高10Tapで85MHzのMediumもしくはFull規格カメラリンクに対応している「Matrox Solios eV-CLF」があります。

■製品名 ： Matrox Solios eV-CL
■受注開始時期 ： 2009年7月27日（月）
■価格 ： オープンプライス

【製品の特長】

■ 共通項目

・ 最大85MHzまでのピクセルクロックに対応

・ 256MBバッファ搭載

・ OSは WindowsXP/Vista, Linuxのそれぞれ32bit/64bitに対応

■ 「Matrox Solios eV-CLB」

・ 独立した2台のBase規格CameraLinkカメラ（2チャンネルのPoCL）とオンボードベイヤー変換に対応

■ 「Matrox Solios eV-CLF」

・ 1台のMedium規格、又は1台のFull規格CameraLinkカメラに対応

*1 モノクロをカラーに変換
*2 Look Up Table フィルタを用いてノイズを除去
※ 記載された会社名および商品名は各社の商標または登録商標です。
※ 各製品の詳細はホームページに掲載されているデータシートをご覧下さい。

© Canon IT Solutions Inc.